教育心理学科　学科報

Tea time

Trust Each other And Take Information on Mutual Enrichment!

就実大学 教育学部教育心理学科
2020年2月1日発行
〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1
TEL.086-271-8111（代表）
Mail:shinri@shujitsu.ac.jp

Vol.9

学科長より

教育心理学科学生の皆さんへ

教育心理学科長　森　宏樹

教育心理学科は、人間の心と行動や心身の健康を科学的な視点から考え、人や子供たちを支えケアできる人材の育成を目標としています。学科内の授業で支えケアするための知識や技能は学べます。しかし、学んだ知識や技能は使わなければ、自分自身の本当の力にはなりません。そのためにも、ぜひ学内外での様々な活動に積極的に参加し、授業で学んだ知識や技能を実践してみてください。そして、実践した結果について振り返ってみてください。それを繰り返すことによって、学んだ知識や技能が皆さん自身の力となります。次の実践に繋がります。本学科で学び、学内外で活動、交流し、成長して欲しいと願っています。みなさんを応援しています。

夏季球技大会（8月）

文：2年　小倉彩音　関森未柚　三石幸奈　写真：1年　公文菜々子　小林梨花

前期試験期間の最終日に体育館で球技大会が行われました。学年に関係なくチームを編成し、皆一丸となってボールをつなぐ姿が見られました。先輩、後輩がお互いに声を掛け合いながら楽しい雰囲気で行われました。先生方の大活躍もあり、盛り上がりを見せていました。暑さを忘れるほど白熱した結果、優勝したチームはもちろん、最下位になってしまったチームも輝く笑顔が見られました。この球技大会を通して、学年を超えて、より一層交流の幅が広がったように思います。

来年はぜひ皆さんも参加してみてくださいね。

研修旅行 (4月)

新入生研修旅行に参加して　1年　若井詩月

今回の研修旅行では、まず初めに伏見稲荷大社に行きました。そこで昼食を食べた後、屋台の団子やアイスクリーム、苺大福などを食べました。どれも美味しくてお腹いっぱい食べてしまいました。そして下鴨神社に参拝した後、大徳寺大仙院に行き、座禅体験と抹茶体験をさせてもらいました。国宝も見ることができ、とても貴重な体験でした。二日目は嵐山で食べ歩きをしました。京都らしい写真がたくさん撮れたのが嬉しかったです。この二日間を通して学科のみんなのことをたくさん知ることができました。四年間一緒に頑張れたらいいなと思います。

StudyTour Report

新入生歓迎会（5月）

新入生の皆さん、教育心理学科へようこそ。　2年　羽崎綾乃

5月11日に教育心理学科の新入生歓迎会がありました。開催前は、「何人くらい来てくれるかな」と心配していましたが、大勢の1年生が参加してくれました。2年生の実行委員は4人ですが、当日は都合で来られなかったメンバーもいて、上手に進行できない部分もありました。しかし、その都度、先輩方が助けてくださり、とても楽しい新入生歓迎会を行うことが出来ました。1年生の楽しそうな笑顔や2・3年生の実行委員のやりきった表情を見て、実行委員をやってよかったと思いました。

今後も学科での活動が予定されています。その時は今回の歓迎会よりもっと多くの人に参加してもらえるよう、これからも企画運営を頑張りたいと思います。

キャリア・就心会講演会（7月）

文：1年　松本　遥・安井穂乃佳・若井詩月　　写真：1年　伊谷海帆・大森菜央

令和元年最初のキャリア・就心会講演会は、本学科を卒業し、養護教諭として働く荻野みゆき先生（1期生、岡山市立牧石小学校）、糸島美穂先生（2期生、井原市立野上小学校）、今村咲子先生（2期生、赤磐市立磐梨中学校）の3名の卒業生をお招きし、大学生活、社会生活、教員生活について考えることをテーマに先生方のご経験をもとにご講話いただきました。大学生活や学びについては、先生方の大学生活での不安や大切だと感じたことなど、努力が垣間見えるお話で、これから大学生活を送っていく上でとても参考になるお話でした。社会生活については、「社会人と学生の違い」に関する質問に対し、3名の先生全員が「責任の重さ」であると回答されたことはとても印象に残りました。責任を持つことのできる人間に成長することの大切さが身にしみました。教員生活のお話では「子どもとの信頼関係を保つための距離感」がとても印象に残りました。特に、子どもたちと校門や教室、廊下で行う挨拶は、単に礼儀に留まらず、先生が「見守ってくれている」、「支えてくれている」という安心感や信頼関係を築くために有効な手段であるというお話にとても感銘を受けました。

今回、先輩方から教えていただいた事を糧に、今後の大学生活、そして私たちの夢へと繋げていきたいと思います。

旭川荘見学（10月）

1年　佐藤菜々花・大林青空

毎年、教育心理学科の1年生は、初年次教育の学びの場として人間尊重の精神を基本に総合医療福祉施設「旭川荘」を訪問しています。今回、私たちが旭川荘の訪問で特に印象に残ったことは、スタッフの方々と見学後に行った反省会です。その中で、「利用者と信頼関係を築くためにはどのような工夫が必要であるか」という学生側からの質問に対して、各施設のスタッフの方々が丁寧に、それぞれの立場から自分なりの信頼関係の築き方について話をしてくださいました。その回答には全て共通しているポイントがありました。それは、利用者や家族のことを考え、理解しようとする姿勢でした。利用者の方々の普段の生活をよく観察し、生活の状況や背景を多様な視点から把握することで、より一層利用者や家族の立場になって相手の気持ちや考えに寄り添うことができるということを学びました。

反省会の内容を含め、今回の訪問では多くの学びがありました。この学びを今後の学生生活に繋げていきたいと強く思いました。

なでしこ祭 (10月)

エイズカフェ　文：2年　小川聖李叶　写真：1年　青山由佳・河原奈那・松田果恋

12月1日の世界エイズデーに向けて「エイズは他人ごと？自分のこととして考えよう」というスローガンのもと「エイズカフェ」を実施しました。エイズカフェを実施するにあたり、エイズのことを身近に知ってもらうためにまずは私たち運営スタッフが性感染症について勉強するため岡山市保健所へ出向き、そこで学んだ知識から同世代の人に知ってもらうための資料や仕掛けカードのクイズを考えました。クイズ形式やイラストのカードを各テーブルに置き、訪れた方々がお茶をしながら少しでも性感染症について考えるきっかけに繋がることを願い、エイズカフェを運営しました。実際に訪れた方々に対し、エイズの感染経路や性感染症の最近の動向に関するパネルを展示したり、仕掛けカードのクイズを提供することで、エイズについて気軽に楽しく考える空間を作り上げることができました。

キッズワンダーランド　文：2年　竹原　努　写真：1年　鳴滝　泉・山本陽菜

今年のキッズワンダーランドは、“親子が一緒に楽しめる”をモットーに、ダンボールで作られた迷路を主なアトラクションとした、子どもたちの好奇心をくすぐるコーナーが設置されました。参加した子どもたちは、昨年よりも広くなったスペースを活用して、風船をトスした回数をお母さんやお父さん、友だちと競い合ったり、お絵描きコーナーで好きな物を描いたりと、精一杯遊び尽くしていました。

遊び場の制作は、教育心理学科の2年生によって夏休みから開始されました。今年は制作メンバーが4人と少なく、準備はとても大変だったと思います。朝からたくさんの親子で賑わっていたキッズワンダーランドは、子どもも大人も笑顔の絶えない、とても素敵な空間でした。

ハートカフェ　文：2年　石岡真衣　写真：1年　青山由佳・河原奈那・松田果恋

ハートカフェでは、教育心理学科の1・2年生が恋愛川柳を読んだり、保健室掲示などを行いました。恋愛川柳では、皆がそれぞれ思い思いの川柳を作りました。良かった川柳にはハロウィンのシールを貼ったり、さまざまな川柳を見ながらお菓子を食べたりジュースを飲んだりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、保健室掲示では予防接種を受ける意味や仕組みの説明、身近な飲み物であるジュースの砂糖含有量や、1日の糖類摂取基準についてまとめてあり、健康を維持することの大切さを深く学ぶことができました。

実習大特集

看護学臨床実習　教育実習　特別支援学校教育実習　養護実習

看護学臨床実習　4年　二宮華奈

私は、岡山市内の病院で2週間の看護学臨床実習に臨みました。養護教諭にとって看護は切っても切り離せない分野で、養護教諭として必要な看護の基本について多くのことを学ぶことができました。

この2週間は学びと考察の連続でした。特に病院と学校現場では、対象やその内容が異なるため、病院で学んだことをどのように養護に結び付けていくかが課題でした。そのため、実習後の日誌にはとても時間をかけました。じっくりと考えた分、深く考察でき、養護教諭としての幅広い知識を得ることや視野を広げることに繋げられました。看護の知識や経験が豊富な看護師さんから実践の中で学ぶことができた本実習は、養護教諭を目指す上でとても貴重で有意義な経験となりました。

教育実習（基礎免許教育実習・小学校）

4年生　國重小涼

初めは不安だらけの教育実習でしたが、児童と積極的に関わっていく中で児童の実態を理解することができ、子どもたちと良好な関係を築くことができました。そのため、研究授業も児童との会話のキャッチボールを大切にしながら展開することができたと思います。

その一方で、自分の課題を改善していくことを意識して実習に臨みました。指導実習の時、同じ単元の中で続けて2回授業をさせていただく機会があり、2回目の授業では、1回目の課題を改善することを意識しながら授業を行いました。授業の実施と反省を繰り返す指導実習の体験の中で、教師の「学び続ける姿勢」を肌で感じることができました。

実習が始まる前は長く感じた4週間でしたが、日々新鮮な体験を重ねていく中であっという間に時間が経ち、気がつけば終わりを迎えていました。今後は、実習を通して学んだことや課題を見つめ直し、これからの生活の中で活かしていきたいと思います。

特別支援学校教育実習　3年　栢野太我

私は岡山県立岡山東支援学校へ実習に行き、知的障害部門の小学3年生のクラスを担当させていただきました。初めての実習で学校現場に入ったため、初日はとても緊張し何をすれば良いか全くわかりませんでした。しかし、実習が進むにつれ、優しく指導してくださる先生方や、授業を真剣に受ける児童達のおかげで緊張はほぐれ、とても気持ちが楽になりました。この実習を通して自分の中で学びとなったことは、実態に合わせた授業作りでした。特に授業を実施するまでの準備の中で児童の実態を把握することや、一人一人の実態に合わせた個別の学習活動や授業作りの大切さを知りました。今回の実習で学んだことを今後に活かし、児童ときちんと向き合える先生になりたいと思います。

特別支援学校教育実習　3年　星島流偉

私は岡山県立東備支援学校の中学部（知的障害部門）で教育実習をさせていただきました。実習では、特別支援教諭ならではの職務について観察や体験をし、先生方と授業内容を考案したり、情報共有を行いながら勉強をさせていただきました。実習前に大学の講義で障害に関する特性について学び、指導案の作成や模擬授業の演習などをしていたものの、実際の現場ではそれらにうまく当てはまるものばかりではなく、初めての課題に悩むこともありました。しかし、生徒と同じ目線に立って真正面から向き合うことで、生徒との間に信頼関係が生まれ、生徒の気持ちを読み取る手応えを感じました。また、生徒とかかわる中で、失敗を恐れず、分からないことは分からないなりにトライアンドエラーを繰り返すことで行動を予測できたり、生徒が言葉にはしない気持ちに気付くことがあることを実感しました。

特別支援教諭には、生徒一人一人に目を向け、それぞれの実態や特性を把握し、それに応じたオーダーメイドの課題を設定することや、カリキュラムを作成する力が必要であることを身をもって経験することができました。今後は、様々な実態や特性を持つ児童生徒と自信を持ってかかわることができるよう、実習で学んだことを活かし、課題に取り組みながら知識や経験を確かなものにしていきたいです。

養護実習　3年　金島夏未

私は9月2日から27日までの約4週間、母校の中学校で養護実習をさせていただきました。実習では、ケガの応急処置や行事の中での養護教諭の役割など、養護教諭ならではの職務を体験することができました。また、他の先生方との連携や心のケアにも時間をかけて取り組み、保健室の役割の大きさを体感しました。様々な職務を観察し体験して行く中で、養護教諭のやりがいや楽しさ、大変さを改めて感じました。

実際に学校現場に入ってみると、大学で学んだ知識・技術はあくまでも基礎であることを思い知らされ、臨機応変に対応していくことの難しさを実感しました。実際に子どもたちを目の前にすると、今まで学んできたことを実践することが難しく、自分の力量のなさも同時に感じられました。今後は採用試験に向けて知識や技術をしっかりと身につけ、ボランティア等を通して積極的に子どもたちに関わっていきたいと思います。

養護実習　3年　大西優花

4週間にわたる母校の小学校での実習では、養護教諭と児童が関わる場面の観察や、養護教諭の職務を体験することができ、勉強になることが多くありました。救急処置や健康相談については、観察だけでなく実践も行いました。一方で、児童への声掛けや対応がうまくできないこともありました。3年生を対象に行った保健学習では、児童の実態を知るために何度も授業見学を行い、指導案を考えました。実際に授業を行い、授業を実施する難しさを感じるとともに、真剣に授業を受けてくれた児童の表情を見て楽しさを感じることもできました。今後は、実習で学んだことや指導してくださった先生方への感謝の気持ちを忘れず、さらに知識・技能を身につけていきたいと思います。

● 学科で取得できる教員免許別の実習スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
養護教諭一種免許状	3年生						養護実習(4W)					看護学臨床実習(2W)	
	4年生												
中学校・高等学校教諭一種免許状(保健)	3年生												
	4年生		教育実習(3W)				教育実習(3W)			※どちらかの時期に指定されます。			
特別支援学校教諭一種免許状	3年生			特別支援教育実習(2W)			特別支援教育実習(2W)			※どちらかの時期に指定されます。			
	4年生			教育実習(2W)				教育実習(2W)		※実習に参加する学校種によって指定されます。			
介護体験	3年生 4年生	一年のうちで随時(特別支援学校2Day、社会福祉施設5Day)											

就職体験記

今年度卒業する教育心理学科6期生の就職体験記です。
大学で学んだことを活かして、それぞれ社会での活躍を期待しています。

一般企業就職

一般企業就職については、自分が希望する就職ができるよう、友だちやキャリアセンター、時には先生と対策をしてきました。
就職活動の中で自分の適性や将来についてしっかり考えることができました。

井原　葵　冠婚葬祭企業

私は、大学院進学を目指していましたが、進路変更をして4年の夏から就職活動を開始しました。周りの同級生はこの時、すでに内定を決めていたり教員採用試験を受けていたりと進路が明確になっている人が多かったので、私は焦る気持ちがとても大きかったです。

私の場合は限られた時間の中で、自分が納得できる進路を見つけられるようにキャリアセンターやハローワークに通い、履歴書の添削や面接練習などをしていただきました。多くの人の力を借りながら万全の状態で就職試験に挑めるよう力を尽くしました。随分と周りから遅れて始めた就職活動だったので、自分のやりたい仕事に就けるのか不安がありましたが、無事に内定をいただくことができました。今振り返るともっと早くから行動、対策をしておけば焦らず困らず落ち着いて就職先を探すことができてよかったのにと思うことも多々あります。

後輩の皆さんは、迷うことがあっても、まずは勇気を出して行動することをお勧めします。

加賀有紗　写真業

私が就職活動で1番重視したことは、「自分の興味のある事」「人を笑顔にできる事」の2つです。企業を探す上で、私は就活サイトだけではなく、地元や大阪の合同会社説明会に参加して、できる限り多くの企業担当者の方のお話や企業の考え方を聞くようにしました。沢山の企業を見るうちに、「ここは社風が合いそう」や「ここは合わないかも」となんとなく感じられるからです。

県外就職では交通費や宿泊費、飲食費などが余分に必要なので、学校と就活イベントのない日は就活資金を貯めるためにアルバイトをしていました。就活が本格的に始まると、周りが気になったりストレスが溜まったりする事が多くなると思います。しかし、周りを気にしすぎると自分が本当は何をやりたいのか、5年後10年後にどうなっていたいのか分からなくなってしまいます。自信を持って働ける企業を自分のペースで探してください。

田中彩央里　流通会社

私は、3年生の夏からインターンシップに参加していましたが、本格的に就職活動を始めたのは解禁日の3月からでした。私は、1年半アルバイトで事務職をしていた関係上、どうしても事務職に就きたいという希望が強かったため、事務職採用をしている企業に絞って就職活動をしました。

履歴書やエントリーシートを書くとき、また面接などの選考会に赴くときには、変に見栄を張ると緊張してしまいます。また、企業側の面接者から「ありのままに話してください」といわれることが多くありました。面接時には、礼儀やマナーなども必要かもしれませんが、企業のことを理解し、そして自分についてもきちんと理解し、落ち着いて話ができると良い印象を残せるのではないかと思いました。自分自身のことを聞かれたときに、自分の趣味などを隠すことなく素直に思いのまま語ってみるとよいかもしれません。

教員採用試験

教員採用試験は、受験校種に関係なく、みんなで対策を行ってきました。どんな情報もみんなで共有し、時には先生方からもご指導をいただきながら一緒に頑張ってきた時間は、とても有意義でした。

犬飼夕稀　特別支援学校教諭：岡山県

私は、教員採用試験に向けて、友人と同じ場所で勉強してきました。それは、お互いに覚えたことや調べたことを伝え合うことで、一人で勉強する以上のことを身につけることができると思ったからです。また、自分で覚えたことを友人に説明したり、問題として出題したりすることで確かな知識として修得することができました。私は友人と一緒に勉強しましたが、自分に合った方法を見つけて勉強することが一番大切です！

勉強をする上では、計画をしっかり立てることをお勧めします。教員採用試験の対策は、かなりの勉強量を必要としますので、効率よく勉強するためにも計画を立ててからじっくりと取り組んでみてください‼ 辛いと思う時もあると思いますが、頑張ってください！

橋本七海　養護教諭：岡山県

私は、採用試験の勉強を進めていく上で目の前のことに対して真剣に取り組むことの大切さを実感しました。その中でも、授業で聞いた話やボランティアの経験は、採用試験の筆記や面接で生きてくると感じました。採用試験が近づくにつれて焦りと不安が押し寄せてきましたが、養護実習で子ども達からもらった手紙を励みに、そして、お世話になった恩師にいい報告がしたいと思うことで努力し続けることができました。また、同じ養護教諭を目指す友達や就実大学の先生方、家族にも支えられて掴み取ることができた合格だと思います。

学生時代に様々な人々に支えられた分、新年度の春から私が養護教諭として子どもたちの力、支えになれるよう努力し、自分自身も成長し続けられるよう精一杯頑張っていきたいです。

矢田かのん　養護教諭：岡山県

共に頑張ることのできる仲間がいなければ、この教員採用試験を乗り越えることはできませんでした。私は毎日、朝から夜まで大学の自習室を利用して勉強をしていました。友人とはお互いに分からないことを教え合い、また自分たちで小テストを作って問題を出し合うことをしながら勉強をしていました。一緒に勉強を頑張る仲間がいたことで、モチベーションを維持することができたのだと思います。また、不安と闘う日々の中で支えてくれたのは、大学の先生方でした。面接練習や実技の指導だけでなく、教採への不安や悩みを真剣に聞いて頂き、私は何度も救われました。支えてくださったたくさんの方々に深く感謝しています。

春からは、大学での経験や学びを大切にして岡山県の子どもたちを温かく支えられる養護教諭になれるよう日々成長していきたいです。

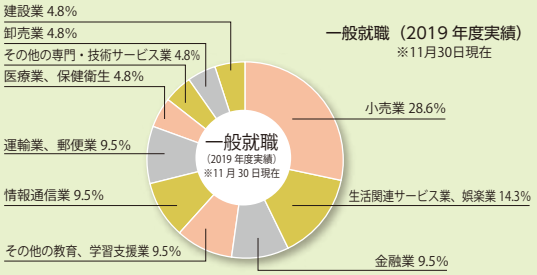
2019年度　就職状況

2019年度(2020年度採用) 教員採用試験合格者実績

養護教諭：7名(岡山県4名、兵庫県1名、神戸市1名、広島市1名)　講師登録(予定)者：15名
特別支援学校：4名(岡山県3名、広島県1名)

本学科卒業生合格者

養護教諭：7名(岡山県4名、島根県2名、神戸市1名)　特別支援学校：5名(岡山県3名、島根県2名)



http://www.shujitsu.ac.jp/category/department/kyouiku/kyouikushinri

働く先輩特集

～大学院進学で得た６年間の学びを活かす～

尾崎杏奈さん

旭川荘 療育･医療センター
勤務
公認心理師、臨床心理士

（教育学部 教育心理学科 2016 年卒業、
就実大学大学院 教育学研究科 2018 年修了）

高校生の時にスクールカウンセラーという職業を初めて知り、心をケアする仕事に興味を持ちました。そこで就実大学のオープンキャンパスに参加し、ミニ講義を受講したりするうちにさらに興味が強くなり、当時開設されたばかりの教育心理学科に進学しました。

大学では臨床心理学はもちろん、検査法や統計法、発達心理学など、幅広く学ぶことができました。座学だけでなく、実際に検査を行いレポートにまとめるといった実践的な作業を体験できたことは自信にもつながっています。そしてより専門的な勉強をするため就実大学の大学院に進学しました。就実で学んだ6年間は生涯の財産だと思っています。

今は2年間の研修期間中のため、業務は病棟での生活支援がメインです。初めての分野の仕事ばかりで戸惑うことも多いですが、この経験から将来の心理判定員としての仕事に活きることがあると思い頑張っています。

ゼミ紹介（堤ゼミ）

TsuTsumi

4年　北山友理

堤ゼミでは、「心理学論文の書き方」の本に則り、3年次から論文の書き方やルール、心理統計の使い方など，卒論執筆に向けた指導が行われます。ゼミ生は皆、自分の興味のあるテーマについて先生と相談しながら卒論を進めていっています。一方、ゼミ会では焼肉に行ったり、ピザやお寿司を頼んで食べることもあります。また、今年はゼミのみんなで堤先生のお誕生日のお祝いをしました。いつも仲良く、楽しく、あたたかな雰囲気の中でゼミが行われています。

研究紹介　学生インタビュー

1 年　浅野琴巴・小野玲奈・桑田鈴果・瀧川理子・中原実玲

永田先生は、不安障害への認知行動療法の実践的研究に取り組まれています。心療内科で多くの調子を崩している方を見てなんとか助けたいと強く思ったことが研究を進めるきっかけになったそうです。現場で働き、調子を崩した子どもがカウンセリングで学校に行けるようになったという報告を受けた時は、とてもうれしく、やりがいを感じられるそうです。

現在は、インターネットを用いて遠隔カウンセリングに取り組まれているそうです。遠隔カウンセリングは、まだまだ発展途上のプログラムとのことですが、対面することが難しい方や病院に訪れること自体が困難な方とのカウンセリングにおいて、今後普及していくだろうと考えられています。このようなプログラムを効果的に機能させるために、何が必要なのか？何が効果的なのか？を実践的研究を通じて明らかにしていきたいそうです。

心理学検定特1級合格!

一般社団法人日本心理学諸学会連合が認定する「心理学検定」の特1級（10科目合格）を取得されたお二人です。おめでとうございます！

4年　浜野沙也加さん

2年　小林慶昭さん

学業奨励賞2019

今年度、学業奨励賞を受賞された皆さんです。おめでとうございます。
今後、学修に一層励むことを期待しています。

4年生 左から
河部由佳さん
國重小涼さん
村岡花奈さん

3年生 左から
菅家彩菜さん
巻幡楓花さん
山下理緒さん

2年生 左から
石川　舞さん
小川聖李叶さん
楠本千波さん

編集後記

編集後記を書いている今は紅葉のシーズン…。春には緑色だった山々が徐々に色づき、彩り豊かな美しい姿へと変わってきました。

今年も、記事執筆・写真撮影・取材を担当してくれた学生たちの力が合わさり、学科報Tea timeが見事に色づきました。日々成長し続ける学生たちの姿をこれからもお届けしていきます。(担当H)

2019年度　教育心理学科

4月1日	入学式
4月19~20日	研修旅行
5月～7月	教育実習・前期（特別支援教育実習、保健教育実習、基礎免実習・中学校）
5月11日	新入生歓迎会
6月23日	オープンキャンパス
7月13日	キャリア・就心会講演会
7月20~21日	オープンキャンパス
8月7日	球技大会
8月24~25日	オープンキャンパス
9月～10月	養護実習
10月	教育実習・後期（特別支援学校教育実習、基礎免実習・小学校）

行事報告

10月26~27日	なでしこ祭/学科企画イベント
10月30日	保健教育実習報告会
11月1日	養護実習報告会
11月22日	教員採用試験報告会
12月14日	特別支援学校教育実習報告会
2月17日~3月6日	看護学臨床実習(2週間)
2月4日	卒業論文オープン発表会・卒業生茶話会
3月20日	卒業式
3月26日	看護学臨床実習報告会

2019年度学科報編集担当/ 4年生　井原　葵　小笠原可純　加賀有紗　小島菜々子　佐藤菜々子　田中彩央里　二宮華奈　3年生　大西優花　香川真美　金島夏未　串下知世　杉本芽維　佃　里帆　藤倉百花　前田みなみ　明樂真緒　渡辺はるか　2年生　石岡真衣　岩井ひより　小川聖李叶　小倉彩音　カロレユマ　黒木藍那　崎山なつみ　関森未柚　竹原　努　西平真音　羽崎綾乃　万治芽生　三石幸奈　山岡はるか　吉田佳織　1年生　浅野琴巴　大林青空　小野玲奈　桑田鈴果　佐藤菜々花　瀧川理子　永井利歩　中原実玲　橋本菜南子　松本　遥　安井穂乃佳　若井詩月　教員　永田　忍　堀田裕司　森村和浩